

中国社会における「ほめ」文化の変容 —文化資源学の観点から—

楊 一林

人間社会環境研究科 博士前期課程 1 年

1. 派遣期間・訪問先

2011 年 8 月 28 日から 2011 年 10 月 2 日にかけて、中国の南部および北部のそれぞれ 3 つの都市において、記述式によるアンケート調査と自然会話の録音データの収集を実施した。目的は、中国社会における「ほめ」文化とその変容について考察するためである。

主な日程と訪問先は以下のとおりである。

8 月 28 日 小松空港 → 中国上海

8 月 29 日 上海 → 北京

8 月 30 ～ 9 月 4 日 北京市

(北京大学・北京科術大学・北京師範大学)

9 月 5 日～9 月 7 日 天津市

(北京科術大学天津学院)

9 月 8 日～9 月 12 日 南京市

(南京大学・南京師範大学)

9 月 13 日～9 月 16 日 蘇州市

(蘇州大学)

9 月 17 日～9 月 19 日 上海市

(華東師範大学、上海交通大学)

9 月 20 ～ 9 月 23 日 山東省曲阜市

(曲阜師範大学)

9 月 24 日～10 月 1 日 上海市

(華東師範大学 聴講)

10 月 2 日 中国上海 → 小松空港

2. 調査の内容

2.1. 調査の目的

本調査は、ポライトネス行動の典型表現である「ほめ」に注目し、中国社会という同一言語文化内における「ほめ」文化が変容していることを明らかにする。ポライトネスとは、円滑なコミュニケーションを構築

もしくは維持するための対人配慮行動である。このような配慮行動はどの文化にも存在する。ポライトネスに基づく振る舞いは、儀礼としての文化的行動であり、文化資源として大きな利用価値を持つ。ポライトネス行動そのものは普遍的にどの文化にも存在しているが、その具体的な実現の仕方は文化ごとに異なる。例えば、日本社会は対人的な距離を大きくとる傾向にあり、相手への負担を考慮する対人行動が優勢である。他方、北アメリカ社会や現代中国社会は、対人的距離を小さくしようとする傾向が強く、相手との積極的なかわりを志向する対人行動が優勢である。しかし、一口に日本社会・北アメリカ社会・現代中国社会といっても、地域・世代・階級・性差などによって同一言語文化内であってもそのポライトネス行動も多様である。しかも、近年、その行動に顕著な変化が認められるようである。

本研究で取り上げた「ほめ」行動とは、相手との円滑な関係を保つために、相手への理解や賛同を表明し、相手を心地よくさせる機能を持つことから、相手に積極的にかかわろうとするポジティブ・ポライトネスの重要なストラテジーの一つと指摘されている (Brown & Levinson, 1987)。現代中国社会においても、「ほめ」行動は円滑な人間関係の構築・維持・改善などに果たす役割は大きく、さまざまな場面で用いられている。ところが、東洋文化の道徳の基本とも言われる『論語』に収録されている「巧言令色、鮮なし仁」(学而篇・陽貨篇)は、口先が巧みで、角のない表情をするものに、誠実な人間はほとんどないという意味である。特に相手が目上である場合、「巧言」とみなされる可能性のある「ほめ」行動は不可能もしくは困難と理解されている。

しかし、現代中国社会において、「ほめ」文化が変容しつつあり、それに伴い、その表現形式や表現方法は多様化しているように思われる。相手が目上であっても、その様々な関係に応じて、多様な「ほめ」行動

が生じることが予想できる。

そこで、本調査では、中国の6つの都市（南部・北部それぞれ3都市ずつ）在住の大学生を対象者としてアンケート調査を実施し、そのデータに基づき、中国語母語話者の目上への「ほめ」行動を分析した結果、「ほめ」行動に違いがあることがわかった。その違いは、ポライトネスに関するグローバルな文化によるローカルな文化への侵食という観点から説明可能だと思われるが、本報告では、文化資源学と関連づけて説明を試みたい。

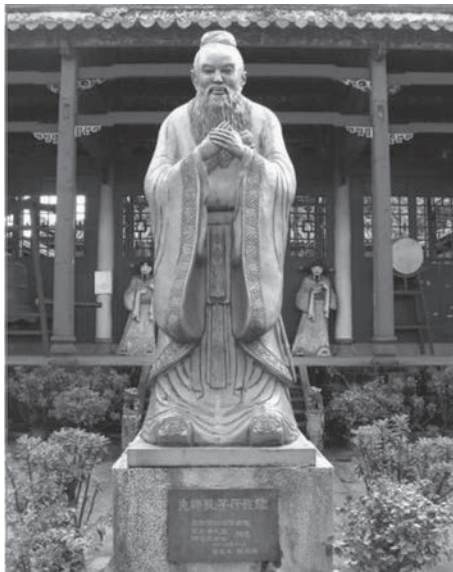


図1 先師孔子行教像

2.2. 調査の概要

・調査実施日

2011年8月28日－2011年10月2日

・調査地・対象者

北京市－北京科術大学

自動化学院と計算機及び通信工程学院の
大学院生 50名

天津市－北京科術大学天津学院

土木工程系と材料科学及び工程系の大学生
2～3年生 50名

山東省－曲阜師範大学

歴史文化学院の大学生 3年生 50名

江蘇省－南京大学

物理学院の大学院生 50名

江蘇省－蘇州大学

学部生 50名

上海市－華東師範大学

生命科学学院の大学院生 50名

計 300名

・調査の内容

記述式アンケート調査によって、大学生が大学教員に対して「ほめ」を意図とした場合の発話を記述させ、その表現方法や表現形式を分析する。また、親疎・利害関係により、大学教員を4タイプ：「親しくて利害のあるA先生」、「親しくて利害のないB先生」、「親しくなくて利害のあるC先生」、「親しくなくて利害のないD先生」に分けられ、それぞれの特徴の比較も行う。なお、ここで言う「利害」とは成績評価の有無である。

また、「ほめ」の対象について、大野（2009）、金（2005）に基づき、「専門」・「持ち物」・「外見」・「性格・能力」を扱うことにする。

【記述式調査票の概要】

まず、調査協力者の年齢・性別・出身地・現在居住地及び年数を記入してもらう。

次に、アンケート部分では、調査協力者と同姓で40代の教員は親疎・利害関係により、以下のような4名を想定させる。

A先生＝週2、3回会い、気楽に言葉を交わせられる、
現在授業を受けている先生。

B先生＝気楽に言葉を交わせられ、過去に授業を受けたことがある先生。（現在は授業を受けていない）

C先生＝週1回会えるが、気楽に言葉を交わせず、
現在授業を受けている先生。

D先生＝気楽に言葉を交わせないが、過去に授業を受けたことがある先生。（現在は授業を受けていない）

この4名の先生に対し、次の4つの場面で気持ちを伝えたい場合、どのように言うか、それぞれの場면을想像しながら、実際に言うように記述してもらう。（何も言えない、もしくは言わない場合があれば、「言えない」ないし「言わない」と回答してもらう。）

場面一（専門）：先生の授業がとてもよかったことを伝えたい。

場面二（持ち物）：先生の持っているバックが似合

っていることを伝えたい。

場面三（外見）：先生の新しいヘアスタイルにコメントしたい。

場面四（能力）：外国人に道を尋ねられた先生（英語専門ではない）が、流暢な英語で道案内をしていた様子を目撃。その直後、先生と話す機会があり、このことについて何かコメントしたい。

【選択式調査票の概要】

記述式調査票と同じ場面を設定した。ただし、返答として想定される返答例をそれぞれ7種類提示し、返答例を「大変印象が良い」・「印象が良い」・「どちらも言えない」・「あまり印象がよくない」・「印象がわるい」の5段階で分類させた。さらに、一番相応しいと思う返事があれば「⑧そのほか」の欄に記入することもできるようにしてある。

【インタビュー調査概要】

日常的なコミュニケーションにおいて、コミュニケーション参加者は人間関係を構築・維持するためにどのような言語行動をとっているのか、あるいはとらないのかを談話レベルで観察する。この目的のために、初対面の者同士の自然会話を録音により収集する。なお、自然会話を録音するにあたって、事前に許可を得て行なった。収録された音声データは文字化して分析する。

・会話参加者

調査地居住者の中国人母語話者（例えば、北京在住の中国語母語話者）とし、また初対面の者同士という関係に限定する。一つの調査地に4組（①年齢差のない女性同士、②年齢差のない男性同士、③年齢差のある女性同士、④年齢差のある男性同士）なので、6地域24組、計48名である。

・データ収集の手順

2名の初対面の調査協力者を探して、録音への同意を得た上で収録の場所に来てもらう。会話時間の目安は1時間ぐらいで、協力者には会話を続けるために、不自然にならない程度に話を進めるよう依頼する。

・会話の文字化

録音した会話（計1時間程度）の中で「人間関係を構築・維持するための談話」が認められれば、それをザトラウスキー(1993)の表記方法を用いて文字化する。

3. 調査の成果

3.1. 「ほめ方」のバリエーション

大野(2009)に基づき、目上に対して「ほめ」の意図を表明する際に、「誰に関する言及なのか」という観点から、先生、自分、第三者、に分ける。そこで、アンケート調査票で確認できた「ほめ」の方法は以下のように分類した。

＜先生に関する言及＞

①評価：「先生は（評価語）である。」という直接的な評価の形式

対象	例文1-4
専門	老师，你很不错 (先生、とても素敵です)
持ち物	老师，很有品位 (先生、センスがありますね)
外見	老师，您的发型很适合您 (先生、ヘアスタイルがとても似合います)
能力	老师，好厉害 (先生、すごいですね)

②先生事実：「先生が～した」「先生の～は評価語である」、という現実的で客観的な事実を述べる。

対象	例文5-8
専門	老师，您讲的很棒 (先生、素晴らしく仰っています)
持ち物	老师，您的皮包很给力啊 (先生、あなたのカバンはすごいですね)
外見	老师的发型好酷啊 (先生のヘアスタイルはクールですね)
能力	老师，您的英语好棒啊 (先生、あなたの英語は素晴らしいですね)

③質問・すすめ:

対象	例文 9-12
専門	老师, 还有机会再上您的课吗 (先生、あなたの授業はまた受けられますか)
持ち物	您的皮包太好看了, 在哪买的 (あなたのカバンはとても綺麗です、どこでお買いましたか)
外見	发型不错, 哪里剪的 (ヘアスタイルは素敵です、どこでカットしましたか)
能力	兼职当英语老师多好 (英語の先生に掛け持ちしたらよかったですけど、)

<自己に関する言及>

- ④自己の事実: 同じ事実でも、自分自身に引き寄せて言及するような形式

例 13: 老师, 我从你课中学到了很多东西
(先生、あなたの授業からたくさん学びました)

- ⑤感情: 自分の感情で、その場その時での気持ち

例文 14: 老师你太棒了, 简直就是我的偶像
(先生、すごいです、まるで私のアイドルみたいです)

- ⑥感謝:

例 15: 谢谢你教给我这么多知识
(教えてくださって、どうも有り難うございます)

- ⑦羨望:

例 16: 老师, 真羡慕您的英语
(先生、あなたの英語は羨ましいです)

- ⑧意志: 相手の影響を受け、前向きの決意

例 17: 老师, 咱继续努力, 你越教越好, 我越学越多
(先生、私達一緒に頑張り続けましょう、あなたの教え方がますますよくなり、私の知識がますます多くなります)

- ⑨依頼:

例 18: 有不会的问题还要经常麻烦您啊
(分からない問題があれば、お願いしますね)

<第三者に関する言及>

- ⑩第三者の事実: 先生と自分以外が主語になる場合で、対象が客観的に評価するような形。

例 19: 大家都说您的课很好
(あなたの授業がよかったと皆言っています)

<そのほか>

- ⑪比較:

例 20: 老师, 我现在的课都听不太懂
(先生、私は今の授業が聞き取れません)

- ⑫注目:

例文 21: 老师, 好久不见变化很大嘛
(先生、ご無沙汰しました。随分お変わりになりましたね)

- ⑬無言: 言わない、或いは言えない場面

3.2. 方法ごとの使用比率 (A 先生を例として)

各「ほめ」対象において、「ほめ」に関する表現方法が必ずしも一つで使用されるではなく、1 ターンの発話の中で、同じ方法が繰り返し、又は複数の方法が使用される。そこで、「無言」の場合を除き、すべての場面において、各「ほめ」方法の使用比率を、A 先生を例として取り上げた。図 2 の通りである。

中国語母語話者は、「ほめ」の相手が A 先生である場合、つまり親しく利害関係のある目上をほめるとしたら、「先生に関する言及」が圧倒的に多く使われ、

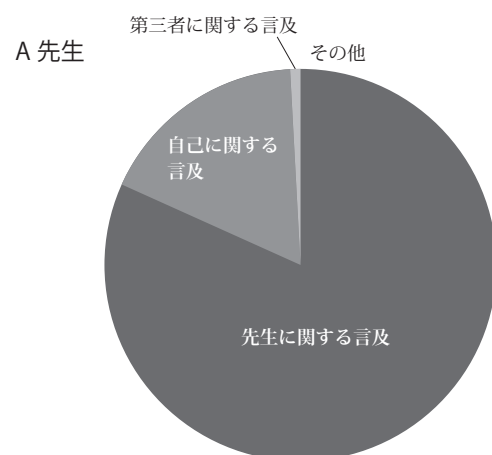


図 2 「ほめ方」のパリエーションを使用した比率 (A 先生)

90%を占めている。また、「自己に関する言及」は19%となり、「第三者に関する言及」及び「その他」は1%程である。

3.3. 親疎・利害関係による「ほめ」行動への影響

<図3>は、教員ごとの「ほめ」の使用比率をグラフで表したものである。疎のC先生とD先生に比べて、親のA先生とB先生のほうが、各「ほめ」対象において、「ほめ」表現の使用比率は85%以上を占め、高いことが分かった。また、利害関係のあるA先生とC先生に比べて、利害関係のないB先生とD先生の「ほめ」表現の使用比率がやや低い、大きな差がないことがわかった。つまり、「利害関係」より「親疎関係」のほうがほめ行動に影響を与えやすいと判断でき、親しい目上に対して、「ほめ」表現の使用率が高いと言える。さらに、対象別に考察した結果、「外見」と「能力」よりも、「専門」・「持ち物」のほうが「ほめ」表現に多く使用される傾向にあることが分かった。

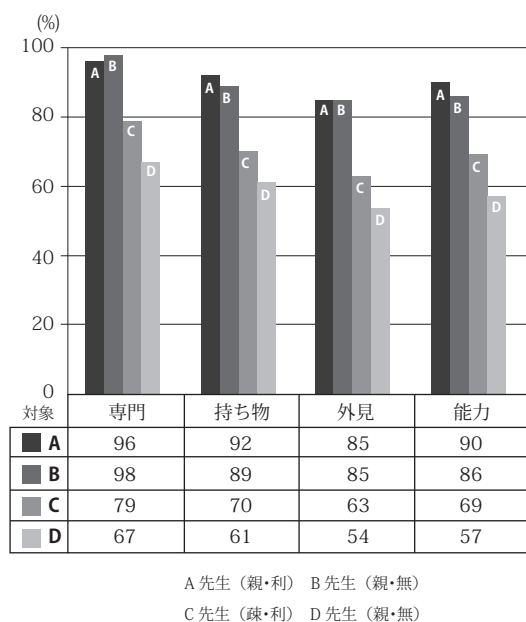


図3 教員ごとの「ほめ」の使用比率

4. 今後の課題

本稿では、ポライトネスの典型的な言語行動である「ほめ」行動の分析に基づき、中国사회における「ほめ」文化の特徴と変容を考察した。現代中国사회において、「ほめ」文化が変容し、その表現形式や表現方

法は様々な形で行われることがわかった。また、相手が目上であっても、「ほめ」行動の使用率は高い傾向にある。そのような「ほめ」行動は、「親疎・利害関係」の観点から分析した結果、違いが認められた。しかしながら、中国社会的な複雑な地域構成、階級差、年代差等により、条件をコントロールした社会人の調査も必要だと思われる。大学生に比べ、社会人のほうが「利害関係」によって対人配慮が大きく影響される可能性が高いからである。また、中国人の言語行動を特徴づける際、面子の概念と関連づけることは不可欠である。今後は、中国社会における「ほめ」文化を、ポライトネスと面子の概念と結びつけて考察していきたい。

文献

- Brown, P. and S. Levinson (1987). *Politeness: Some universals in language usage*, Cambridge: Cambridge University Press.
- 金 庚芬 (2005). 「会話に見られる『ほめ』の対象に関する日韓対照研究」. 『日本語教育』 124 号, 13-22.
- 大野敬代 (2009). 「日本語母語話者と学習者の目上への『ほめ』のあり方」. 『早稲田日本語研究』 第 18 号, 60-71.
- ポリ・ザトラウスキー (1993). 『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの一考察』, くろしお出版.

添付資料 1: アンケート調査票 I (中国語版)

关于语言表达方式的问卷调查 1

感谢您在忙碌的学业中能抽空填写本问卷，您的协助对我的研究非常的重要。

这是一份纯学术性的问卷，主题是想了解一下大家在日常生活中对某些特定的语言表达持有怎样的印象。您填写的答案没有“对”与“错”之分，所以请根据您真实的想法作答。

此外，本问卷仅供学术研究分析，绝不对外公开，并采用匿名方式填写。

首先，请写下您的年龄，性别，出生地，现在居住地及年数。

年龄：_____ 周岁

性别：男・女

出生地：_____

现居住地：_____ 年数：_____

为了保持友好的师生关系，在下列场景中，您对这位 40 多岁的同性老师会采用什么样的语言表达方式。根据熟悉程度和利害关系，又具体分 A，B，C，D 四位老师：

A 老师：每个周见 2,3 次面，经常轻松的进行交谈，并且现在正在上该老师的课。

B 老师：每个周见 2,3 次面，经常轻松进行交流的老师，过去曾上过该老师课。（现在不上）

C 老师：每个周见 1 次面，不经常交谈，现在正在上该老师的课。

D 老师：每个周见 1 次面，不经常交谈，过去曾经上过该老师的课（现在不上）。

对上述的 4 位老师，在以下 4 种场景中，您会怎样表达自己的想法。请想象该场景并写下您的真实想法。（如果是不能说或是不说的情况，请如实的写下 [不能说] 或是 [不说]）。

场景 1. 想表达老师的课很棒。

对 A 老师：	
对 B 老师：	
对 C 老师：	
对 D 老师：	

场景 2. 想表达老师的拿的皮包很适合他 / 她。

对 A 老师：	
对 B 老师：	
对 C 老师：	
对 D 老师：	

场景 3. 对老师的新发型的评价。

对 A 老师：	
对 B 老师：	
对 C 老师：	
对 D 老师：	

场景 4. 你看到几位外国人在向老师问路，老师的专业并非英语，但是用很流利的英语为他们做了说明。对此你会怎样表达。

对 A 老师：	
对 B 老师：	
对 C 老师：	
对 D 老师：	

感谢您的合作！

添付資料 2: アンケート調査票Ⅱ一部 (中国版)

场景一 课后,或是谈及过去曾上的课,

	印象最好	印象很好	印象一般	印象不太好	印象很差
当谈话者是A老师时。(现在正在上该老师的课,并经常和他/她轻松的交谈)					
1. 老师,您的课非常好!					
2. 老师,您的课很有趣!					
3. 老师,您的课很浅显易懂。					
4. 您的课让我受益匪浅,谢谢您。					
5. 大家都说您的课非常好!					
6. 大家都说您的课很有趣!					
7. 不做评价。					
8. 其他的说法:					
当谈话者是B老师时。(过去曾上过该老师的课,并经常和他/她轻松交谈)					
1. 老师,您的课非常好!					
2. 老师,您的课很有趣!					
3. 老师,您的课很浅显易懂。					
4. 您的课让我受益匪浅,谢谢您。					
5. 大家都说您的课非常好!					
6. 大家都说您的课很有趣!					
7. 不做评价。					
8. 其他的说法:					
当谈话者是C老师时。(现在正在上该老师的课,但不经常交谈)					
1. 老师,您的课非常好!					
2. 老师,您的课很有趣!					
3. 老师,您的课很浅显易懂。					
4. 您的课让我受益匪浅,谢谢您。					
5. 大家都说您的课非常好!					
6. 大家都说您的课很有趣!					
7. 不做评价。					
8. 其他的说法:					
当谈话者是D老师时。(过去曾上过该老师的课,但不经常交谈)					
1. 老师,您的课非常好!					
2. 老师,您的课很有趣!					
3. 老师,您的课很浅显易懂。					
4. 您的课让我受益匪浅,谢谢您。					
5. 大家都说您的课非常好!					
6. 大家都说您的课很有趣!					
7. 不做评价。					
8. 其他的说法:					